

2020年12月2日
損害保険ジャパン株式会社

西尾市における自動運転タクシーのコンセプト車両運行の実証実験への参画

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、株式会社NTTドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉澤 和弘）、名古屋鉄道株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：安藤 隆司）、名鉄東部交通株式会社（本社：愛知県豊田市、取締役社長：大竹 宏）、株式会社メイテツコム（本社：愛知県名古屋市、取締役社長：犬塚 一広）、アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）、岡谷鋼機株式会社（本社：愛知県名古屋市、取締役社長：岡谷 篤一）、株式会社ティアフォー（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：武田 一哉）とともに、愛知県の事業として西尾市で実施される自動運転タクシーのコンセプト車両運行の実証実験に参画しますのでお知らせします。

1. 実証実験の背景と目的

愛知県は、将来の自動運転サービスの実現を目指し、全国に先駆けて2016年度から実証実験を開始しています。2019年度からは、内閣府の未来技術社会実装事業^{※1}を活用し、地域ごとに想定されるビジネスモデルを踏まえた実証テーマを設定のうえ、自動運転の社会実装を見据えた実証実験を実施してきました。

2020年度は、自動運転の実用化に向けた取組みをさらに加速させるため、社会実装のあり方を技術面と運用面の両面から検証する実証実験に取り組んでいます。（2020年6月15日愛知県発表^{※2}）

これらの取組の一環として「生活・観光混在エリアにおけるMa a S」をテーマに、名鉄西尾駅～西尾市歴史公園において、自動運転タクシーのコンセプト車両を運行（乗車無料）し、地域の交通利便性と観光客の回遊性の向上を図る実証実験を行います。

※1 内閣府が、地方自治体を対象に、AIや自動運転、ロボット、ドローンなどの近未来技術等を活用した地方創生に関する事業を募集し、優れた取組みについて関係省庁が総合的に支援する事業です。愛知県は、2018年8月に本事業に採択されました。

※2 <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyoshinko/2020-jidouunten.html>（愛知県HP）

2. 実証実験の概要

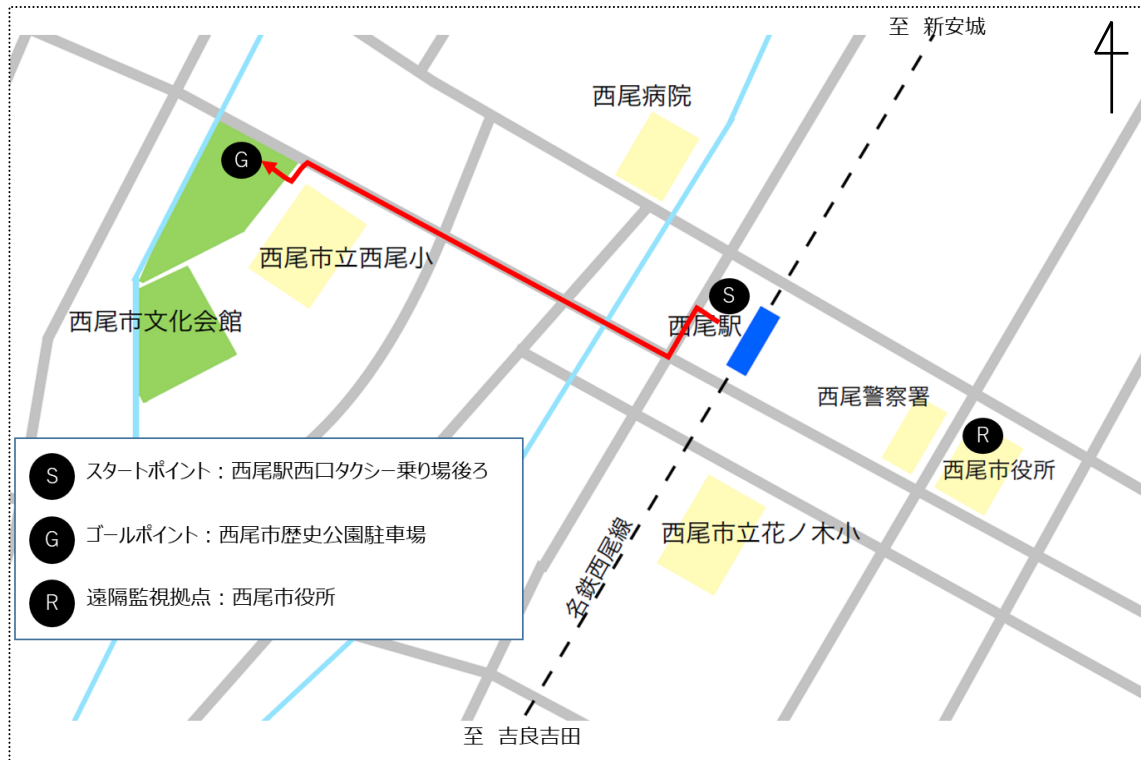
（1）実証スケジュール

2020年12月11日（金）から12月13日（日）まで

(2) ルート詳細

起点：名鉄西尾駅（西口ロータリータクシー乗り場）

終点：西尾市歴史公園駐車場



(3) 車両概要

車両名	タクシー 「JPN TAXI」
	
仕様	<ul style="list-style-type: none">・自動運転システム「Autoware^{※2}」および事前に取得する「高精度3次元地図」を使用して走行・AutowarePC^{※3}搭載、3D-Lidar^{※4}を6台搭載・自己位置推定、障害物認識(停止、回避)、信号認識(カメラ・通信等)の機能を実装

※2 株式会社ティアフォーが開発した自動運転のオペレーティング・システム(OS)です。Autowareは、The Autoware Foundationの商標です。

※3 Autowareを動かすためのコンピューターです。高精度3次元地図もAutowarePCに保存されます。

※4 LiDARはレーザー光によって景色を立体的に映し出すことができるセンサーであり、その反射によって得られる点群データを活用して高精度3次元地図を作成します。

(4) 実証実験の特徴

○交通量の多い幹線と生活道路を織り交ぜた一般公道において自動運転車両を定期運行

駅周辺市街地の回遊性・利便性をより向上させることを目的に、名鉄西尾駅(西口)～西尾市歴史公園まで自動運転タクシーのコンセプト車両を運行します。

このルートは、中心市街地の主要道路と一方通行の幅員の狭い生活道路から構成されており、見通しが悪い左右交差点から合流してくる他車両等の検知、加速減速の繰り返し、右左折時や幅員が狭い道路を走行する際の緻密な経路設定など、単一環境の道路に比べて高度な制御が求められます。

○交通事業者(名鉄東部交通)の乗務員による運行

交通事業者である名鉄東部交通株式会社が、社会実装の可能性を見据えて運行を担います。

なお、運行時は、同社の乗務員(第二種免許の保有者・事前教習修了者)が、車両の運転席と、西尾市役所に設けた遠隔監視室から監視を行います。同時に、東京都中野区にある損保ジャパンの「コネクテッドサポートセンター」※5からも遠隔見守りを行います。監視システムは、将来的に数多くの無人自動運転車両が走行する社会が到来した場合、少人数で複数車両を運行するビジネスモデルの可能性を探るものであり、公共交通の担い手不足の緩和につながるものです。

※5 S O M P Oグループの、株式会社プライムアシスタンス(本社：東京都中野区、取締役社長：徳岡 宏行)に損保ジャパンが開所した、自動運転車の遠隔監視・操舵介入と、事故・トラブルなどを研究する施設です。

○生活と観光が共存するエリアにおけるM a a Sを想定した取組み

住民・観光客に多様な行き先への継ぎ目のない移動を実現するM a a Sモデル構築を目指し、自動運転車両、レンタサイクル、パーソナルモビリティ※6を提供します。

さらには、特設ホームページにおいて、これらの交通手段の利用案内のほか、名鉄主要駅から西尾駅までの経路検索情報、周辺店舗や地域情報などを一元的に提供することにより、モビリティ(移動手段)を軸とした人々の回遊性向上を目指します。

※6 センサーや制御装置を備えた少人数用の乗り物の総称です。

3. 役割

損保ジャパンは、走行エリアのリスクアセスメント^{※7}と走行中の見守りを実施することで、安心・安全な実証実験を支えます。また、自動運転車両向け保険を提供しています。

※7 安全な走行と運用を支援するため、計画段階で危険シナリオを洗い出し、危険度を評価して対策を講じることです。

企業名等	主な役割
(株) NTTドコモ	事業統括、通信環境構築、コンテンツおよびサービスプラットフォームの提供
名古屋鉄道(株)	交通事業者としての運行助言等
名鉄東部交通(株)	自動運転タクシー型車両の運行支援
(株) メイテツコム	顔認証システムの提供
アイサンテクノロジー(株)	自動運転実証実験の実施、高精度3次元地図の作成等
(株) ティアフォー	自動運転車両の提供、自動運転に係る技術提供
岡谷鋼機(株)	実証実験の支援
損害保険ジャパン(株)	リスクアセスメント(事故の予防)、走行中の安心見守り(事故の遠隔監視)、自動運転車両向け保険の提供

※損保ジャパン、株式会社ティアフォー、岡谷鋼機株式会社はアイサンテクノロジー株式会社の再委託先として参画します。

以上